

1998.
11.
14.

アドバム通信

た だ く ま だ よ り



新住所録「アドバム」が生まれる前の話

「アドバム」という言葉からわからん

いきなり「アドバムを作りませんか？」と言われても、「なに言うてんねん？」だと思います。

「アドバム」とは新しい住所録のこと、こだわりのある写真入り名簿のこと。

と言われても、まだピンとこないかもしれません。

「アドバム」が何なのかをお話しさせていただく前に、なぜ「アドバム」の話をしたくなったのか、そのいきさつを話させてください。

12、3年前のことです

あれは、だいたい12、3年くらい前の話になります。

私は、学校を卒業したあと、ある封筒会社に就職しました。

そこは、本当に封筒会社で、主に企業向けの封筒を作っている会社でした。(私はそれまで、封筒を作っている会社が存在するなんて考えたこともありませんでした。封筒や鉛筆は、初めからあるもの、国が作っているもののように思っていました)

私は社会に出たら、とにかく、印刷とは何か、社会人の仕事とは何か、取り引きとはどういうことか、そういう基本を学ぼうと思っていました。

その会社の取引先に印刷会社が多く、私の願い通りの会社でした。

なぜ、印刷関係の知識を得たかったかと言うと、私は学生時代にミニコミ誌を作っていました。友人と始めたミニコミ誌ですが、その本をなんとか商業誌にしたいと思っていました。

そのためにはまず、基本を知らなければいけません。そうしないと、印刷代を安くすることはできないと思いました。また、原稿用紙に書いた手書きの文字がどのようにして、活字になっていくのかなどの、今まで不思議に思っていた謎を解いてみたかったです。

その会社は、きちんとした研修期間を設けてくれました。その上、会社の全部門を1カ月ずつ回らせてくれました。

しかし、ぜいたくなものです。その研修期間が終わる頃になると、私は文章を書く仕事がしたいと思ってしまった

のです。電話で注文をとる、封筒をトラックに積み込む、お客さまに届ける、倉庫から業務用エレベーターで1階へ降りず、パンパンと音を立てて回転する機械から出来上がってくる封筒をダンボール箱に詰める…。

そんな日々の業務の中には「文章を書く」という行為はほとんどありませんでした。たまに紙と鉛筆を渡され喜んでいると、それは文章ではなく、棚卸表に「正」の字を書くことでした。

このままでは、ミニコミ誌を作るための文章が書けなくなってしまいます。

そういう不安がわき出てきて、上司に「企画のできる、文章の書けるような仕事がしたい」と要望しました。しかし、返ってきた返事は、「将来的にはそういう部門を作ることを考えている。しかし、今はまだ考えていない」。それは当然の返答でした。私は、会社のためになるとか、採算がとれるとかを考えての要望ではありませんでした。

しかし、私は何をあせっていたのか、その要望が通らないことを口実に、文章の書ける会社に転職することになりました。

求人広告を作っている時でした

「文字の書ける会社」とは、求人広告誌を作っている会社でした。私は、コピーライター兼デザイナー兼雑用係の制作として入社しました。入社と言っても、正社員としてではなく、アルバイトとしてです。

その会社は変わっていて、アルバイトも正社員と同じ仕事をしていました。会議も一緒でしたし、旅行も一緒、経営目標を達成した時は、そのごほうびに海外旅行にまで行かせてくれました。また福利厚生などの諸制度も正社員並にあり、雇用保険などの社会保険も完備していました。

仕事は、封筒会社にいた頃より残業時間が増えました。しかし、不満なく働けました。文章を書く仕事をしている、という嬉しい気持ちもあったでしょう。会社の福利厚生などの待遇面がよかったということもあります。しかしそれよりも、アルバイトも正社員も関係のない、全員が一つの目標に向かって仕事をしているという一体感を感じていた

「アドバム」って？

「アドバム」とは、住所録（アドレス）に思い出（アルバム）をギュッと詰め込んだ新しい形の名簿のこと。自分の紹介欄には、顔写真あり、イラストありのオリジナル住所録です。この「アドバム」という名前は現在、(株)ただくまが商標登録を申請中。まだデキタテの赤ちゃん商品なので、あなたが育ての親になってください。

からだと思います。

まるで、その会社は学生時代のクラブのようでした。

クラブのような会社、部室のような営業所、社員・アルバイトが混ざり合った一体感…、それは従業員名簿にも表れていました。

その会社の従業員名簿はまた変わっていました。

まず、全員に用紙が配られます。その用紙には、名前・住所を書く欄がありますが、それ以外にも、生年月日、血液型、そして自分の夢を書く欄もありました。さらに、自分の顔写真を貼るスペースもあったのです。

そうです。それが「アドバム」の原型になっています。というより、「アドバム」はそこからのパクリなのです。（その会社のみなさま、すみません）

私は、3カ月か半年ごとに配られるその用紙を前にして考えました。この用紙には、好きなことが書ける。

ということは自分のPRができるのではないかと、ミニコミ誌のことを紹介しなくては…。

しかし、そんな熱い思いを込めて書いた自分の用紙は悲惨な形で名簿に載っていました。写真屋さんで写した顔写真は、フェルトペンで超長いまつげを書かれ、ドイツ人より深い深い二重まぶたの人物がそこにいました。同僚が印刷前に、いたずらをしたのです。私の「愛のミニコミ誌PR大作戦」はまったく成果なく終わりました。

しかし、そんな名簿も、それはそれで楽しかったというのが本当のところ。あれから、12、3年経ちますが、そこには確かに（二重まぶたの）私がいるし、私と一緒に仕事をしてきた同僚がいる。普通の「名前と住所と電話番号」

だけでは思い出せない思い出が、すぐに甦ってきます。

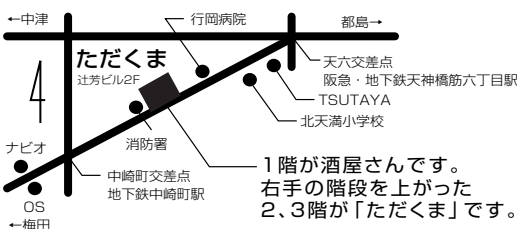
それは自分の手書き文字で書いていたからだだと思います。そこには仲間の写真があるからだだと思います。

そして、私は「アドバム」の企画を、現在の会社・印刷の「ただくま」に出しました。（「ただくま」は私のミニコミ誌を印刷していた会社です。不思議ないきさつで今は社員となっているのですが、ミニコミ誌を作っている当時は、安くてきれいな印刷屋さんを探していました。京都の北野近辺や、大阪の今里周辺、そして阪急梅田駅1Fの自費出版コーナーがある書店などいろんなところを回りましたが、ここが一番安くて丁寧でした。まさか、そこで働くようになるとは思っていませんでしたが…）

あなたの「アドバム」とは言いませんが、名簿や住所録にまつわる話があれば、お聞かせください。

この「アドバム通信」は、「アドバム」の知名度が上がるまで続けたいと思っています。原稿料は、うーん、お払いすることはできませんが、フリーペーパーに投稿する感じで接していただけたいと思います。もしお話やお手紙を掲載させていただいた時には、その掲載分の「アドバム通信」と「アドバム特製メモパッド」をお届けしたいと思います。

あまり、「アドバム」のPRにはなりません。ただくまのみなさま、すみません。次回はしっかり売り込みます。



梅田に印刷～製本までの工場をもって33年



株式会社 **ただくま**

〒530-0021

大阪市北区浮田2-2-14 辻芳ビル

Tel:06-375-2151

Fax:06-375-2295

Eメール: XLZ03150@nifty.ne.jp

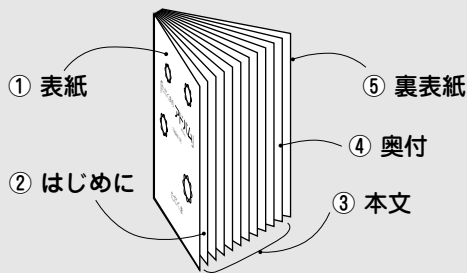
tadakuma@mbox2.inet-osaka.or.jp

ホームページ: <http://member.nifty.ne.jp/tadakuma/>

※もっと大きい字で書いているパンフレットがあります。ご希望の方はご遠慮なく(株)ただくままでお申しつけください。

これが「アドバム」の全体像です

本になってる 新こだわり住所録 サイズ: A5



① 表紙

好きな表紙をお選びください。【無料】

【サンプル集のイラスト】 【無地】 【あなたのオリジナル】

好きな名前をお入れください。

題名や発行者の名前には、好きな名前をお入れください。

※ページが多くなれば、背表紙をつけることもできます。【無料】

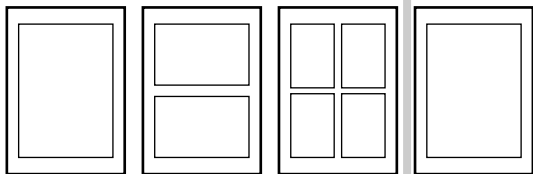
② はじめに

あいさつ文をご自由にお考えください。

③ 本文

4タイプから1つだけお選びください。レイアウト用紙代は無料です。【無料】

【1人編】 【2人編】 【4人編】 【あなたのオリジナル】



オリジナル編

登場人物(アドバムに載せたい人)に書いてほしいことをオリジナルで作成することができます。1ページに収める人数を変えることもできます。

！ オリジナルのレイアウト用紙をお作りします。【無料】
できあがるまでに1週間ほどお時間をください。

④ 奥付

統一した奥付をおつけします。オリジナルで編集後記を載せることもできます。

ただくまの「アドバム」 作った日

199〇年〇月〇日 第1刷発行

発行人 ○ ○ ○ ○ ○

〒 大阪府〇〇

電 話 06-〇〇〇-〇〇〇〇

FAX 06-〇〇〇-〇〇〇〇

印刷所 株式会社ただくま

〒530-0021

大阪府北区浮田2-2-14 辻秀ビル2階

電 話 06-375-2151

FAX 06-375-2295

グループ名 または あなたのお名前とご連絡先

Printed in Japan.

⑤ 裏表紙

オリジナルの裏表紙を【無料】おつけすることができます。

価格の一例

表紙の紙質 と 写真の印刷の仕方 で 印刷代が変わります。

60人の仲間に喜ばれて

39,600円

(【2人編】ホワイトカバーの場合)

表紙の紙質

表紙の紙質は4通りです。お好きなものをお選びください。

※掲載価格は【2人編】(1ページに2人)の場合です。

● 真っ白な表紙に黒の文字。シンプルな名簿がおしゃれ! (用紙: 上質紙 110kg)

| 本文頁数(人数) | 価格 | 本文頁数(人数) | 価格 |
|----------|---------|-------------------------|---------|
| 10P(20人) | 19,600円 | 26P(52人) | 35,600円 |
| 14P(28人) | 23,600円 | 30P(60人) | 39,600円 |
| 18P(36人) | 27,600円 | 34P(68人) | 43,600円 |
| 22P(44人) | 31,600円 | これ以外の人数の場合は特別にお見積いたします。 | |

● カラフルな用紙からお好きな1色をお選びください。(用紙: 色上質紙 特厚口)

| 本文頁数(人数) | 価格 | 本文頁数(人数) | 価格 |
|----------|---------|-------------------------|---------|
| 10P(20人) | 20,100円 | 26P(52人) | 36,100円 |
| 14P(28人) | 24,100円 | 30P(60人) | 40,100円 |
| 18P(36人) | 28,100円 | 34P(68人) | 44,100円 |
| 22P(44人) | 32,100円 | これ以外の人数の場合は特別にお見積いたします。 | |

● あたたかい手触りがするカバー。みなさんの気持ちを包み込みます。(用紙: マーメイド 115kg)

| 本文頁数(人数) | 価格 | 本文頁数(人数) | 価格 |
|----------|---------|-------------------------|---------|
| 10P(20人) | 23,300円 | 26P(52人) | 39,300円 |
| 14P(28人) | 27,300円 | 30P(60人) | 43,300円 |
| 18P(36人) | 31,300円 | 34P(68人) | 47,300円 |
| 22P(44人) | 35,300円 | これ以外の人数の場合は特別にお見積いたします。 | |

● 官公庁の報告書などで多く使われている用紙です。(用紙: レザック66 130kg)

| 本文頁数(人数) | 価格 | 本文頁数(人数) | 価格 |
|----------|---------|-------------------------|---------|
| 10P(20人) | 23,600円 | 26P(52人) | 39,600円 |
| 14P(28人) | 27,600円 | 30P(60人) | 43,600円 |
| 18P(36人) | 31,600円 | 34P(68人) | 47,600円 |
| 22P(44人) | 35,600円 | これ以外の人数の場合は特別にお見積いたします。 | |

※価格はすべて税別です。

写真の印刷の仕方

写真や手書きのイラストを載せることができるアドバム。写真をきれいに印刷するためには、印刷用の写真に加工しなければなりません。

「そんなきれいにせんでええねん」と言われる方もいらっしゃると思いますので、写真の網点処理はオプション価格となっております。1点につき450円です。